

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
Step up		2025年 11月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令に遵守したスペースの確保をしています。支援に合わせて、部屋を分けたりするなどの配慮をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされている人数配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚で分かりやすいイラストや壁面等を使用して工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の室内清掃と空気清浄、物品使用後のアルコール消毒、角や先端など危険個所のカバー、整理整頓を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		教室内にパーテーションがあり、必要に応じて環境を区切ることが出来るようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務・支援を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価いただいた内容は、職員間で把握する機会を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングの中で、日々の情報共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		数年前に外部評価をいただきましたが、現在第三者による外部評価は行っていません。保護者様からいただいたご意見や自己評価の結果をもとに業務改善に努めています。	必要に応じて、外部評価を依頼し実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月一回の内部研修会を実施しています。外部の研修等も積極的に受講していきます。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全体で会議を行い、支援プログラムの検討、作成を行っています。	HPや毎月発行しているstepupによりにて公表していくことも検討していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期面談、日々保護者様から子どもの発達相談やニーズを聞き取りした上で、個々の課題を明確にしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子ども達の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員に共有しており、当日支援前に支援内容の確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方にはシステムを使用していただき、職員間では支援記録を日々作成しており、常に状況が確認出来るようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、必要な準備等がある場合は分担して行っています。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、制作・音楽活動、季節に合わせた行事などの様々な活動を実施しています。また、繰り返し行なう活動も大事にし、子どもの反応の違いや同じ活動プログラムでも教材や活動の展開に変化をつけて提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を含めた目標設定を行ない、子どもの年齢や成長・発達段階に応じて、一人ひとりに合わせた個別活動・集団活動の充実を図れるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動開始前にミーティングを行い、子どもの最近の状況や支援方法の確認などの情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援日当日に職員間で振り返りを行なうことは難しいことが多いため、翌日以降に情報共有を行なうようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、支援に沿った記録をとり、支援の検証や改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングを実施し見直しを行っています。面談などを後日希望された保護者に対して実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議への参加依頼があれば、積極的に参加していきます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて医療機関、担当者と情報交換し連携して支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や移行の際は、保護者や関係機関と情報共有しながら、その内容を支援に取り入れるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、関係機関と情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			体制は整えているが現状は前例がないため、機会を設けて対応していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現状は交流する機会を作れていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		プログラムやトレーニングではありませんが、保護者様からの相談内容の解決方法を一緒に検討したり、子どもの成長に応じ、自宅で出来る取り組み等の提案を行なっています。	ペアレントトレーニングを専門的に学んだスタッフを配置していないため、支援は行えていません。必要に応じて今後検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規程や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等があればその場で答えています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前には個別面談を行い、子どもや保護者様の意向の確認を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		子どもや家族の希望や要望を十分に汲み取りと共にアセスメントシートをもとに子ども状態に応じた放課後等デイサービス計画書を作成し、保護者様に対し支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的な面談やモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に1回保護者同士の交流の場を設けています。また、行事等では家族みなさんに参加していただき、父母だけでなく兄弟姉妹同士の交流の機会にもなっています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ誠実に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月一回「Stepupだより」を配布し、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる記録などについては、鍵付きロッカーで管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもとの意思疎通が適切に図れるよう、個々の特性に応じた分かりやすい言葉での説明や視覚的なアプローチ、選択方式を取り入れながらコミュニケーションを取るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、必要に応じて今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを基に職員会議にて対応方法等の確認や月一回訓練を実施しています。	保護者様への周知が不十分な部分があり、より安心して利用していただけるよう保護者への周知に努めていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、定期的に避難訓練も実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に保護者様への聞き取りや書面での提出をしていただき確認しています。服用の変更があった際にはその都度ご連絡をいただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様・医療機関と連携を図り安全配慮を行い、徹底したおやつや活動の提供を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、保護者へ計画について説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった際にヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回マニュアルを用いて職員全体で研修を行っています。	今後も職員一人ひとりが虐待に関して意識を高められるよう取り組んでいきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず行動制限・身体拘束を行う時間と理由について職員間で検討・周知し、保護者へ行動制限・身体拘束に関する説明書・実施同意書を基に説明を行い、個別支援計画に記載し同意をいただいています。	